



はじめに

この度、「千歳市農業振興計画（第4次）」を策定いたしました。令和3年度から令和12年度までの10年間に、農業者の方々をはじめ、農業関係機関・団体等と連携を図りながら市民の皆様と共に取り組んでいく千歳市農業の指針となるものです。

千歳市では、これまで農業の振興、優良農地の確保、林業の振興を基本方針とする第3次計画に基づき、様々な施策を展開してまいりました。その間、遊休農地の減少、市営牧場の利用促進、クリーン農業実施面積拡大などの成果を得られております。

その一方、全国的な傾向と同様に、千歳市においても、農業者の減少や高齢化などが進んでいる状況にあり、新たな担い手の育成・確保や農業経営のさらなる強化が課題となっております。

また、国際情勢においては、持続可能な社会の実現に向けたSDGsの取組が広がり、人々の意識や行動が変化する中、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が、社会の在り方や国際関係に大きな影響を与えることが懸念されます。

さらに、TPP11、日EU・EPA等の発効に伴い、農作物などの関税の削減・撤廃が進む状況にあり、日本の農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

国は、昨年3月に新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、食料自給率の向上と食料安全保障の確立を図るため、我が国の食と農の持続的発展を目指しています。また、北海道においても、令和3年度からを計画期間とする「第6期北海道農業・農村振興推進計画」を策定中であり、輸出拡大やスマート農業を推進し、多様な担い手と人材が輝く力強い農業・農村を目指すこととしております。

千歳市といたしましても、「地域資源を生かし次世代につなぐ農林業を推進します」を基本目標として、農業者の皆様をはじめ、関係機関・団体との連携を図るとともに、市民の皆様のご協力をいただきながら、目標の達成に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました千歳市農業振興計画策定懇話会の委員の皆様、並びにアンケート調査や担い手意見交換会、関係機関ヒアリング調査等にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

千歳市長 山口 幸太郎